

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2025年 3月 7日

長野県知事 様

住 所 福岡県北九州市小倉北区大手町11-2
氏 名 株式会社ワールドインテック
代表取締役 伊井田 栄吉
TEL 093-581-0101

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		塩尻市大字北小野字相吉5050 他36筆(別紙参照)
事業区域の位置及び面積		25,345.0㎡
太陽光発電施設の合計出力		2099.5kW (太陽電池の合計出力2,345.4kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (オフサイトPPA方式により県内企業に電力売電予定)
	設置工事着手予定日	令和7年4月7日
	設置工事完了予定日	令和8年9月30日
	運転開始予定日	令和8年12月1日
	施設撤去予定日	令和28年12月1日
太陽光発電施設の設置に関する計画		添付05 太陽光発電施設設置計画書 参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		太陽光発電設備の設計ガイドラインに基づき、架台や部材間に対して地震・暴風・積雪に対しての荷重・許容応力度計算をし、構造計算上問題ないことを確認した。架台は縦横、横横、筋交から成り立ち大きなブロック構造となっており各部材間を支えている。また地盤調査を10箇所以上行い、スクリュー杭基礎の長さも適切に反映させている。
景観保全のための措置の検討に関する事項		添付06 景観の保全のための措置の検討状況書 参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		該当無し
備考		連絡先 株式会社ワールドインテック 昆 洋平 東京都港区東新橋2-14-1NBFコモディオ汐留4階 (電子メールアドレス) kon@farm-group.com

注 1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第 1 位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第 1 位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第 9 条第 1 項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

添付4(1)

地上設置の場合:補助対象設備を導入する土地全筆の地番リスト

申請者 住所	北九州市小倉北区大手町11番2号
法人の名称	株式会社ワールドインテック
代表者氏名	伊井田 栄吉

※一地番(1筆)につき、1行ごとに記載してください。

[illegible]

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☐ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☒ その他（既設排水設備を利用 ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	添付資料参照		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ）：搬入(10t 車)12 台、施工(2t 車)50 台 運行時間：8 時～17 時 経路：チロルの森広場入口より入場		
造成工事	盛土の有無	☒ 有・無	想定盛土量 2500 m ³
	切土の有無	☒ 有・無	想定切土量 2500 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		0 m ³
排水処理設備の有無	☒ 有 ・ 無		
	排出経路	排水経路図に記載のとおり	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	該当無し
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	添付03 配置図参照
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	該当無し
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	分割している
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	営農に支障がない最低高にしている
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	該当無し
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	一定方向・一定角度にしている
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	低角度にしている
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	該当無し

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		低反射モジュールを使用
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒色を採用
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	低反射アルミを使用
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	シルバーフレーム
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		濃色を使用
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		最短ルートを検討する
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		グレー、白色の機器を選定し、目立たないようにする
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		該当無し
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		該当無し
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		該当無し
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		年に４回程度の設備点検を実施する他、年に２回程度清掃作業を実施する
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		確認済み

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

維 持 管 理 計 画

作成日

2025 年 1 月 17 日

太陽光発電施設の設置場所	塩尻市大字北小野字相吉 5050 他 36 筆(別紙参照)	
事業者名(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名)	福岡県北九州市小倉北区大手町 11-2 株式会社ワールドインテック 代表取締役 伊井田 栄吉	
保守点検責任者	氏名及び住所	塩尻市大字北小野字相吉 5050 株式会社ワールドインテック チロルの森 片岡 宏一
	電話番号	090-5148-9270
合計出力	DC : 2, 345. 49kW、AC : 2, 099. 50kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日(事業終了予定日)	2046 年 12 月 1 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	発電所近所の中間処理事業者に引き渡しを計画しており、可能な限りリサイクル等の資源回収を行った上で、撤去する。	
維持管理計画及び状況の公表方法	インターネットにて公表 標識に掲示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

●強風による飛散

- ・太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みが無いこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施
- ・営農実施時の目視確認を実施

●豪雨による災害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

- ・事故、災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、自治体など）に連絡をする。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講ずる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年4回	
			端子箱に破損、変形がないか		〃	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		〃	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		〃	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		〃	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		〃	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		〃	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		〃	
			接続部に緩み、破損がない。		〃	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		〃	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		〃	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		〃	
			ボルト、ナットの緩みがない。		〃	
			固定強度に不足の懸念がない。		〃	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		〃	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		〃	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		〃	
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		〃	
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		〃	
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		〃	
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		〃	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		〃	

			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		〃	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		〃	
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		〃	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年2回	
			亀裂、ずれがない。		〃	
			破損がない。		〃	
			排水設備外への漏水がない。		〃	
調整池	☒	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。		〃	
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。		〃	

			草木の繁茂がない。		〃	
	☒	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。		〃	
	☒	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		〃	
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		〃	
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。		〃	
	☒	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。		〃	
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		〃	
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。		〃	
			油等の浮遊がない。		〃	
	☒	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。		〃	
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。		〃	
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。		〃	
			油等の浮遊がない。		〃	
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。		〃	
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		〃	
	☐	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。			
	☐	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。			
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年2回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		〃	
			雨水等による洗掘がない。		〃	
			草木の繁茂がない。		〃	
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年2回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		〃	
			雨水等による洗掘がない。		〃	
			草木の繁茂がない。		〃	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。

☒ 中心十字切替



1/10000

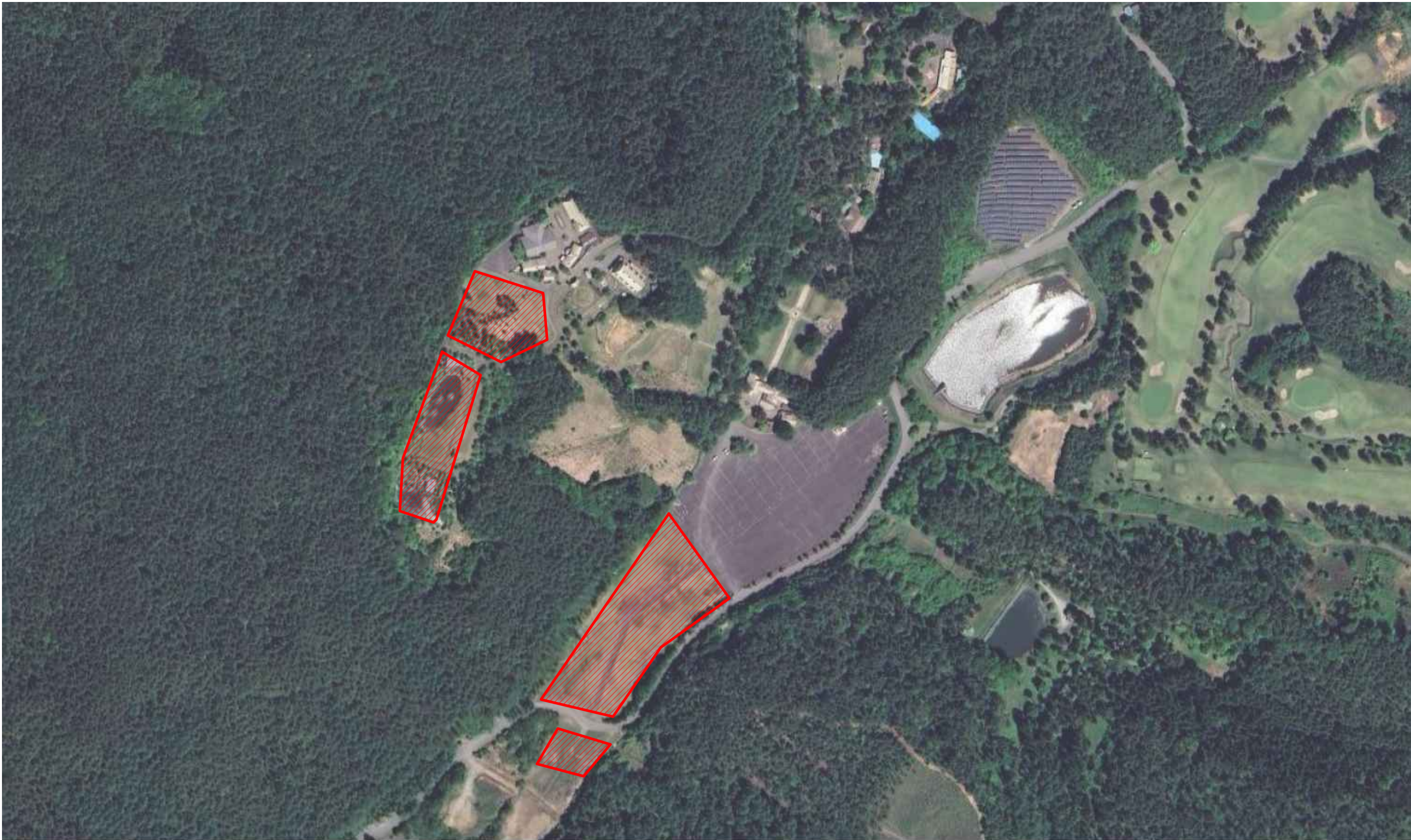


相吉上溜池

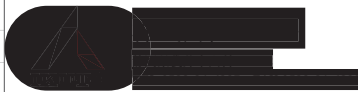
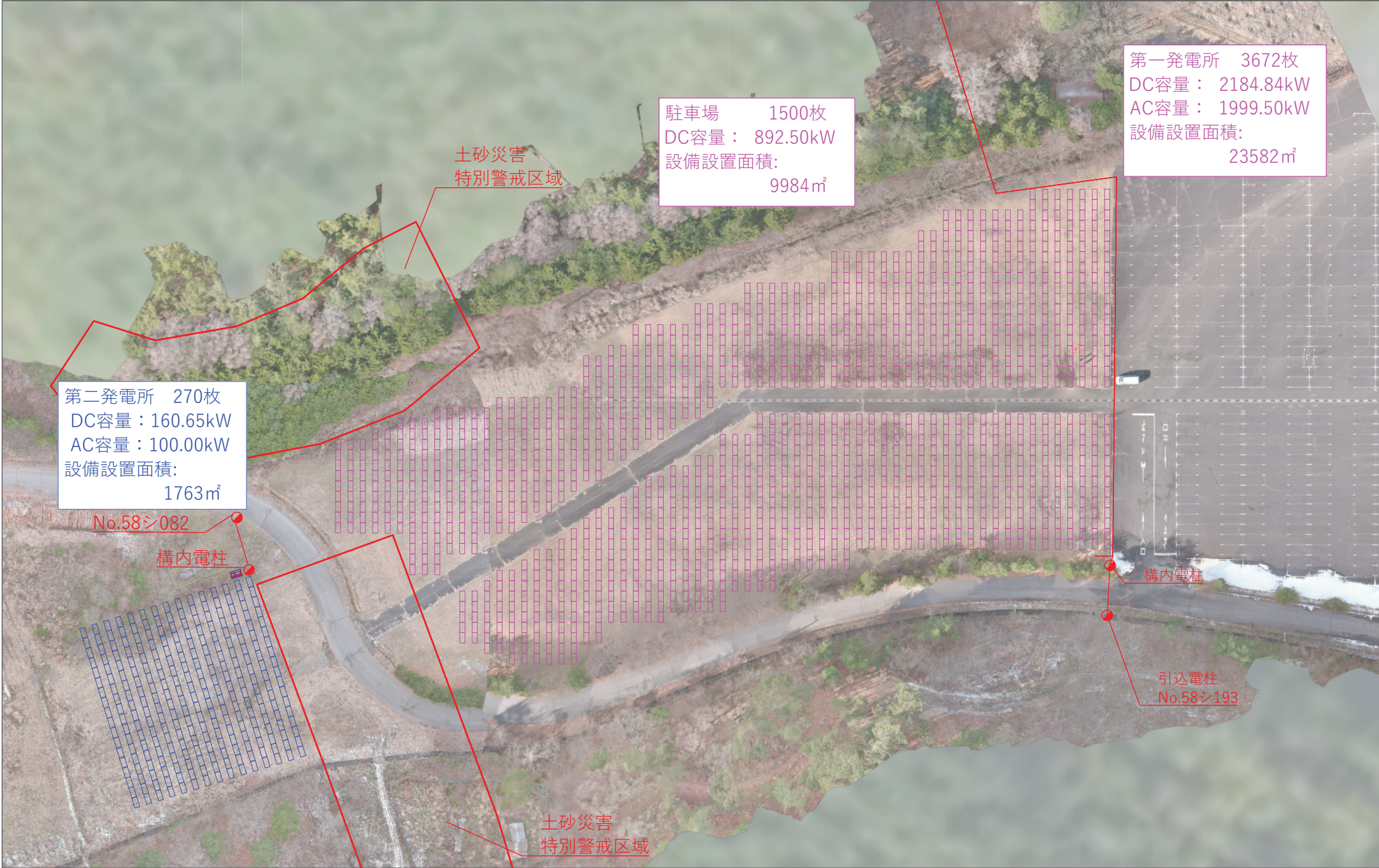
索引図



案件名：チロルの森 太陽光発電所
 所在：長野県塩尻市北小野相吉5050



		名 称：チロルの森様 太陽光発電所 ORG No.000	DATE 2025/1/16	
		図 面 名：区域図	縮 尺 1:3000	

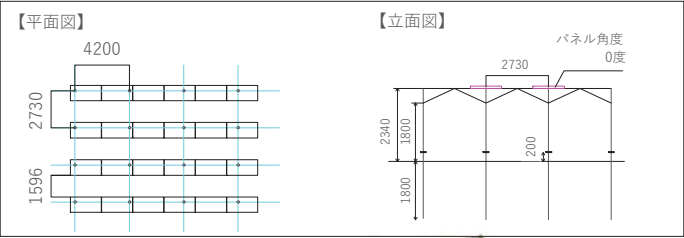


名称	: チロルの森様 太陽光発電所	DATE	2025/03/04	作成	■■■■
図面名	: 配置図 駐車場・第二発電所	縮尺	1:750 (A3)	No.	***

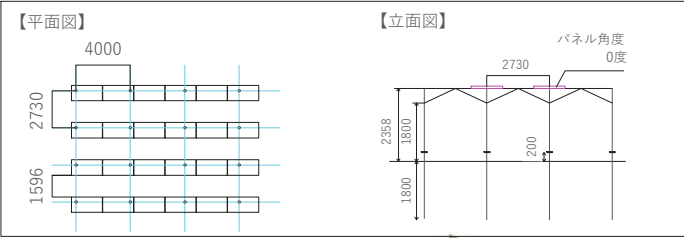
積雪地域 (97cm)

日本庭園計 2172枚
DC容量：1292.34kW
設備設置面積：
13598㎡

【庭園西 架台図】



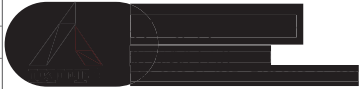
【庭園東 架台図】



日本庭園西 1481枚
DC容量：881.195kW

日本庭園東 691枚
DC容量：411.145kW

25.03.04 パネル向き変更し再配置、 設備設置面積 追記



名称：チロロの森様 太陽光発電所

ORG No.000

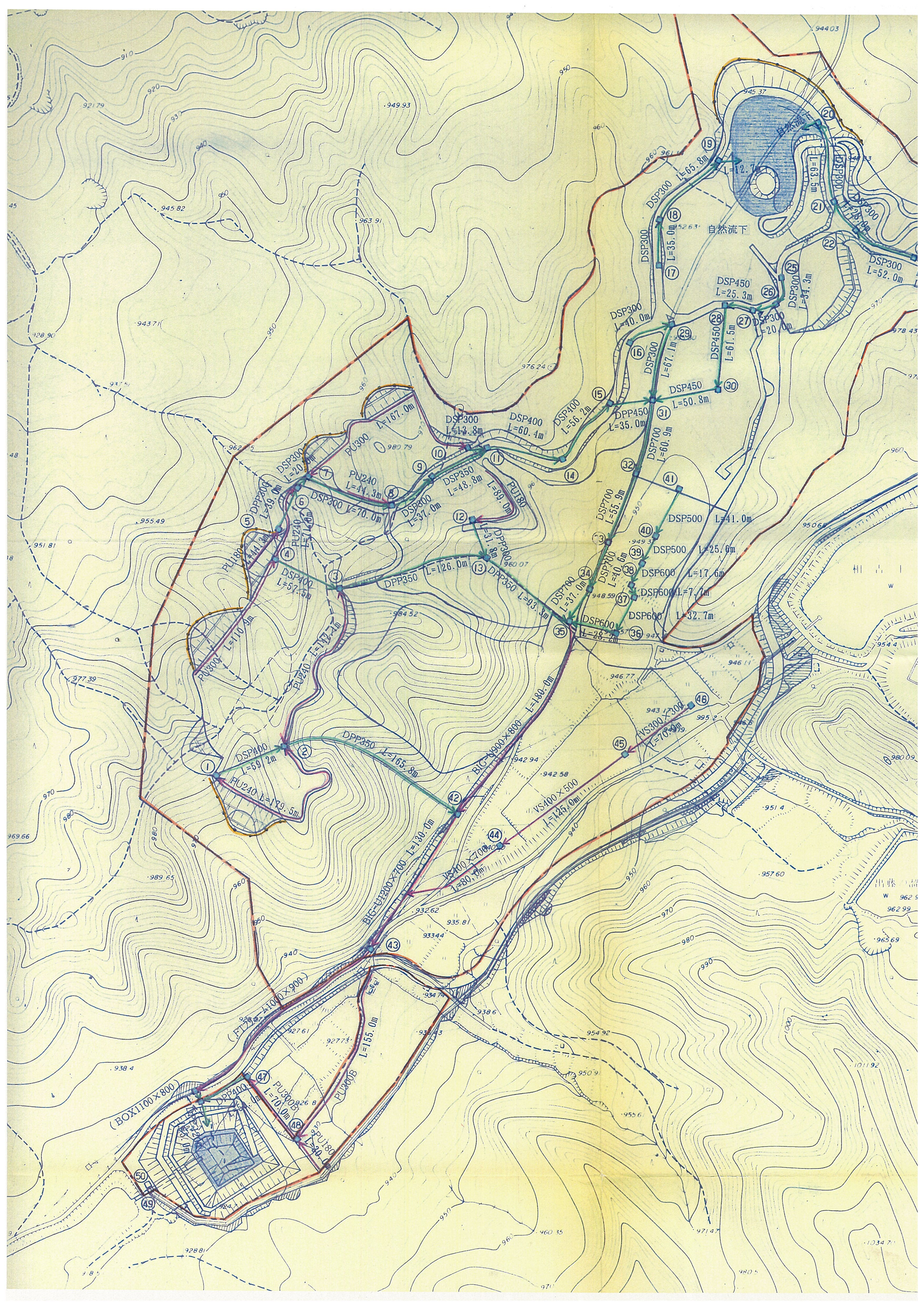
DATE 2025/03/04

作成

図面名：配置図 日本庭園

縮尺 1：750 (A3)

No. ***



工 事 名	現 場 住 所	マスター工程表（仮） 【 2025/1/1～ 2027/3/31】		作成者	
チロルの森太陽光発電所	長野県塩尻市大字北小野字相吉5050			現場責任者	
				作成日	2025/1/8
				修正日	

作業		2025年												2026年												2027年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申請	行政申請	行政申請																										
	電力申請	接続契約申込～回答												外線工事														
	試験調整																											
	竣工検査																											
	使用前自己確認																											
	補助金	2/28までに事業完了 補助金支払日(3/31)												2/27までに事業完了 補助金支払日(3/31)												補助金支払日 2/26までに事業完了		
主 体 工 事	測量・地盤調査	測量・地盤調査																										
	伐採・造成工事																											
	主要部材 杭・架台	架台発注 架台搬入（2月下旬まで）																										
	主要部材 パネル布施	パネル発注 パネル搬入（2月下旬まで）																										
	主要部材 電気設備 （PCS）	PCS発注 PCS搬入（2月下旬まで）												PCS設置工事（第二発電所）												PCS設置工事（第一発電所）		
	主要部材 電気設備 （QB）	QB発注												QB搬入（第二発電所）												QB搬入（第一発電所）		
	基礎工事 （QB・PCS）	構造計算												基礎工事												基礎工事		
	高圧電気工事																											
	標識・柵堀工事																											

チロルの森再生事業 ソーラパネル配置図

チロルの森
丘エリア

第一発電所
旧日本庭園エリア

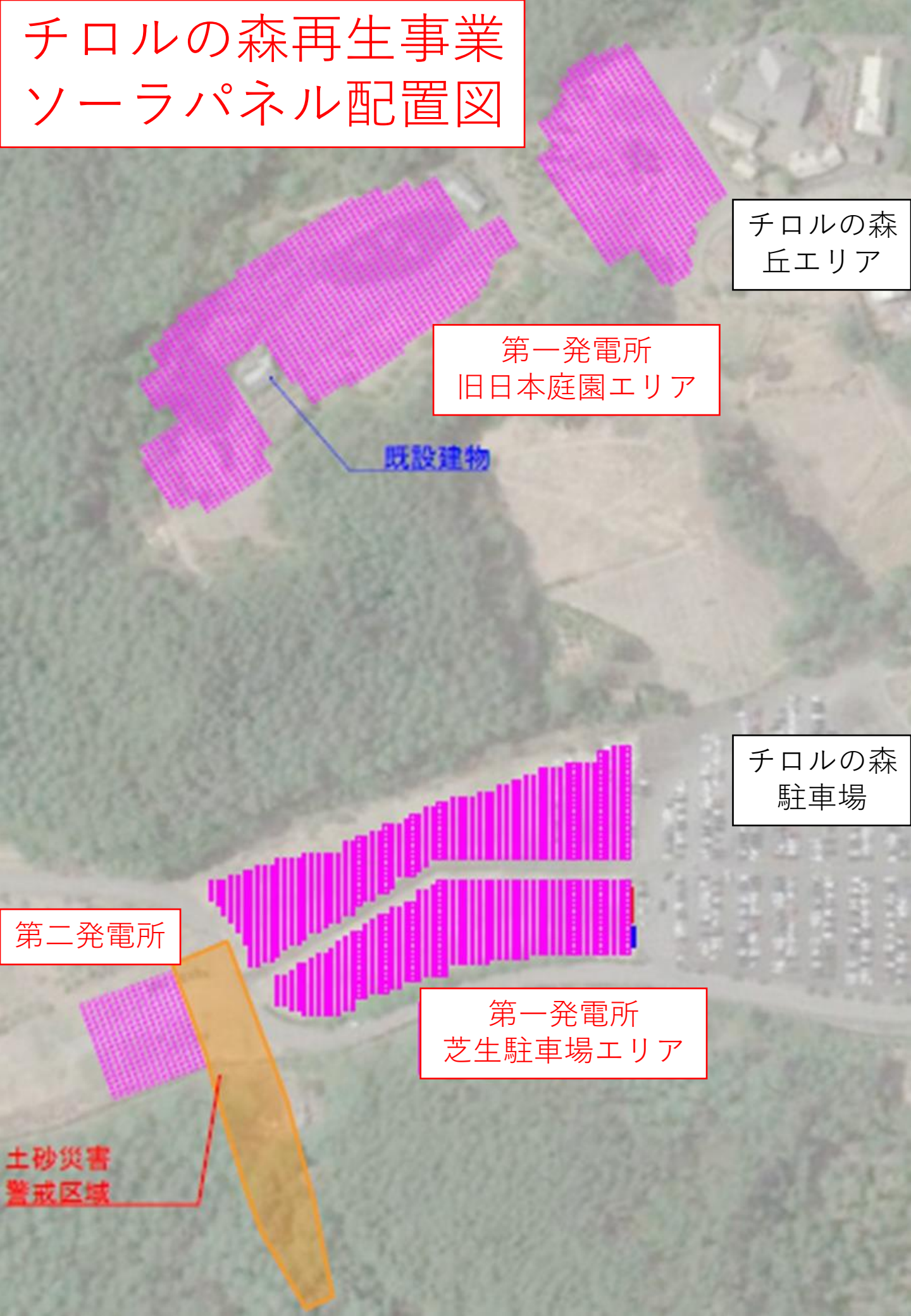
既設建物

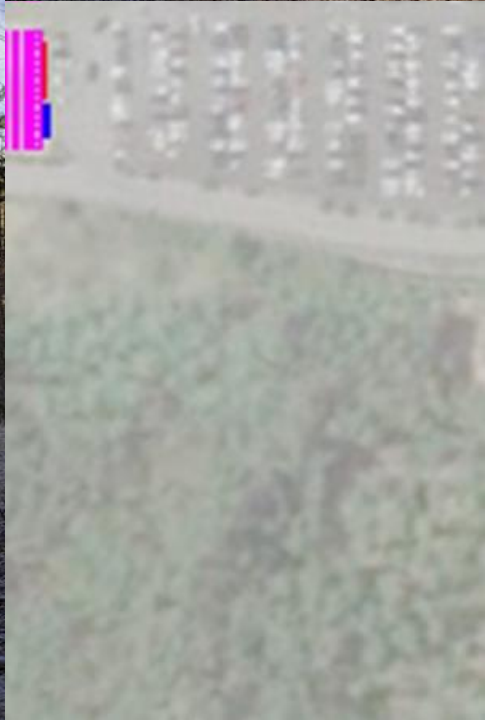
チロルの森
駐車場

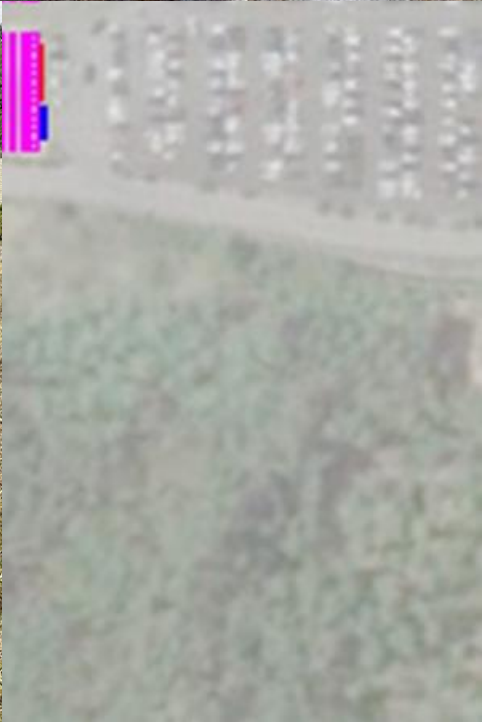
第二発電所

第一発電所
芝生駐車場エリア

土砂災害
警戒区域









(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2025年 2月 6日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		株式会社ワールドインテック 福岡県北九州市小倉北区大手町11-2 代表取締役 伊井田 栄吉
事業太陽光発電施設の設置の場所		塩尻市大字北小野字相吉5050 他36筆 (設備ID)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		地元勝弦区長、隣接土地権者 案内書面の配布
説明会の概要	日時	2025年2月4日 19:00～
	場所	塩尻市北小野支所視聴覚室
	参加者数	16名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	取締役副社長 パークマネジメント事業本部長 高井 裕二

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

議事録

日時：令和 7 年 2 月 4 日(火) 19:00~20:00

場所：塩尻市 北小野支所 視聴覚室

◇参加者

事業者：(株)ワールドインテック パークマネジメント事業(高井本部長・片岡支配人・昆室長・山本課長)
(株)イクト 北村取締役

対象者：



計 16 名

◇議題：チロルの森再生事業に係る太陽光発電設備の説明会

内容：

(昆) チロルの森 再生事業に係る太陽光発電設備に関する説明会を開催いたします。

本日、進行を務めます。(株)ワールドインテック パークマネジメント事業本部の昆と申します。

※事業者側参加者を紹介

弊社では 2020 年 11 月に閉園した信州農業公園チロルの森再開に向け、昨年、約 1 か月のトライアル営業をした。たくさんの方にお越しいただき、本格的な再開に向け思いを強くした。

公園事業の再開に向けて、ぶどう栽培と太陽光発電を共に行うソーラーシェアリング事業を計画し、昨年より何度かご説明させていただいてはおりますが、塩尻市、および長野県の太陽光発電設備設置に関する条例に則り、この説明会を開催させていただいております。太陽光設備の話がメインとなりますが、まずは現在のチロルの森再生計画の状況について高井より説明させていただきます。

(高井) 昨年 5 月にお集まりいただいた際に公園営業再開に加えてワインぶどうの栽培、ゆくゆくはかつてあったワイナリーの再開をしていきたいという事、その下支えとして従来の野立ての太陽光設備ではなく農業とエネルギーの両立を図るソーラーシェアリング事業を計画していることをご説明しました。

これについては経済産業省 資源エネルギー庁の補助金が採択されれば実施するとしていましたが、昨年末、この補助金の採択が決定しました。この事業の構造・安全対策等が国の厳しい基準に則って認められたと認識しております。それを踏まえて本日設計等の説明させていただきます。

その前段として、おさらい的にチロルの森再生計画を説明させていただきます。

■別添資料「チロルの森再生中期計画」を展開・説明

①公園営業

2024 年夏休み期間にトライアル営業を実施しました。

15,000 人の来場を見込んでいたが 25,000 人と想定よりも多くお越しいただき大変感謝しています。

課題も多く残る結果となったが、2025 年以降は GW 前からの再開に向けて準備を進めています。

今迄チロルの森で行っていなかったイベント等を充実させ集客力を高めていきたいと考えています。

②ぶどう栽培

昨年春よりぶどうの苗木を確保し、現状凍害対策を講じたうえでポット栽培を行っています。

徐々に定植に切り替え、2027 年秋には計画収量を目指して進めています。

③ソーラーシェアリング事業

発電した電気については、全てというわけではないが園内で賄いつつ、地域への供給を行い、エネルギーの地産地消、エネルギーの地域循環を計画しています。

スマート農業についてはどこまでできるのかこれから検討していきます。

具体的な計画について、設計等担当する(株)イクトの北村取締役より説明いただきます。

(北村) (株)イクトの北村でございます。

私からは、営農型太陽光発電所について設計の観点からご説明をさせていただきます。

※別添資料「【チロルの森太陽光事業】事業基本計画書」を展開・説明

事業名は「チロルの森再生事業」であり、事業実施場所は駐車場および園内となります。

今回設計はイクト、施工・安全管理に関しては静岡ガスエンジニアリングが担当します。

事業区域の全体面積は 26,000 平米、定格出力 1999.5kw となります。

工事着手は令和 7 年 4 月 7 日から予定しています。

設置工事の完了予定はチロルの森営業に影響が出ないよう、令和 8 年 9 月 30 日で運転開始は令和 8 年 12 月 1 日を予定しています。施設撤去予定日は令和 28 年 12 月 1 日と仮に入れておりますが、太陽光発電の通例としての 20 年ですので以降も発電できるようであれば問題なく運転できます。

設置場所については、公園営業に際し使用しない遊休地に設置します。

芝生駐車場と日本庭園エリアを第 1 発電所、公道を挟んだ駐車場を第 2 発電所といたします。

第 1 発電所と第 2 発電所を電線で繋ぐようなことはありませんのでご安心ください。

土砂災害警戒区域への設置ありません。

排水計画についてですが、既存の排水桝に向けて排水路を設置するため最終的に調整池へ集まる計画となっております。また、芝生駐車場の道沿いには土側溝を新設し、土砂や水の流出を防ぐ施工を考えています。

特定区域・環境配慮区域の該当もなく、工事車両の運行計画については地元の皆様、施設側と協議をしながら適切に運用したいと考えています。造成工事は行うが土の切り盛りは最低限に抑え、すべて場内で処理する計画です。送電設備については既存の中部電力の電柱へ送電し地元企業様に使用していただきエネルギーの地産地消に寄与しようという計画で進めております。

景観の保全のための措置として、稜線や山間への設置はなく太陽光によって反射光・騒音の影響を受ける住居等の該当ありません。パネルについても低反射タイプを設置します。

周辺柵についても目立たない色を使用し景観に配慮します。

今回の太陽光設置にあたって森林等の伐採はありません。

粉じん・水環境・動植物へも十分注意して設計・施工を行います。

維持管理計画についてですが、定期的な巡回、メンテナンスを行い安全な事業実施に努めます。

事業終了時の撤去についても地元リサイクル事業者をお願いする計画も国へ提出しております。

日々の安全対策、メンテナンスについても 50 以上のチェック項目を設定し事業を進めてまいります。

(高井) 専門家による定期的なチェックをもちろん、常駐の職員もいるため目視によるチェック等行ってまいります。

質疑応答

Q. 芝生駐車場に設置するということだが、水はけが悪いように思うがぶどう栽培に適しているのか

A. 専門家の指導の下、栽培箇所を選定しているため問題ないと考えています

排水等について問題が発生した場合、追加で排水路を設ける等適宜対応していきます

Q. 第1発電所のパネルの数と容量はどのくらいか

A. 駐車場 1,533 枚 912.135kW 日本庭園 2,139 枚 1087.365kW となります

Q. かなり大きい高圧受電設備が必要になると思うがどこに置くのか

A. 日本庭園エリアへ設置します

Q. 受電設備の大きさは

A. 3m×5m くらいの大きさになります

Q. 最大出力はどのくらいになるか

A. 最大 1999.5kW となり、季節によって変動するが、通常は 1200～1300 程度だと想定している

Q. 排水について調整池へと説明があったが水利組合との調整はついているか

A. これからの調整になります。構造物等を置く場合等、何かしら変化が生じる場合は都度対応します

Q. 第1発電所の土側溝はどのくらいの大きさか

A. 雨量計算の上、これから設計します

過去、別の太陽光設備で側溝が小さく崩れて土砂が調整池へ流れ込んだことがあった

そういうところも気を付けてほしい

Q. 設備設置で気温変化はどのくらいあるか

A. 基本的には変わらないと思います

Q. 冬の間の管理についてはどうするのか

A. 全く無人になることはありません。動物も飼育いるためスタッフが数名常駐することになります

発電設備についても遠隔アラート監視できるようになっています

Q. パネルは冬の間立てた方が良いのではないか

A. その機能を付けるとそこから破損していくため、今の状態で考えると立てない設計で考えている

Q. 遠隔アラートについては誰が受け取るのか

A. イクト・静岡ガスエンジニアリング・ワールドインテックの3社常に監視できるようになっている

Q. パネル1枚でどのくらい発電するのか

A. 約 590w

Q. パネルは国内製か

A. 日本ではほとんど作っていないため、海外製になります

Q. 調整池の土砂撤去についてはどう対応するか

A. 都度対応する

（昆）質問等ないようですので、以上で説明会を終了いたします。

本日は、ご参加いただきありがとうございました。

今後とも、ご協力の程よろしくお願いいたします。

以上